

# 大 津 朝



千葉県助産師会

第 42 号 令和 5 年 12 月

## 1. 会長挨拶

(一社)千葉県助産師会 会長 武田 智子 4地区 八千代マタニティーセンター武田助産院

寒さがいちだんと身にしみる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。地域や病院で活躍する皆様には日頃より大変感謝しております。

さて、厚生労働省保険局では「出産費用の見える化」に関する検討が行われております。また、出産費用の保険適用化についても 2026 年度を目途に導入の検討をしていくことが明らかとなっています。この出産費用の見える化、ならびに保険適用化については助産師が、妊産婦に寄り添う時間のような目に見えないケアの部分をどう評価し点数化するのかを助産師会が提示していくことが今後重要になってきます。

また、産後ケア事業においては今年度から対象者を「産後ケアを必要とするもの」とし誰もが等しく利用できるユニバーサルサービスであることが明確化されました。各自治体から産後ケア事業に関する内容の変更や連絡等がありましたら情報提供をお願いいたします。現在産後ケア事業は民間企業も参入して様々なサービス提供を行っていますが、助産師が関わる産後ケアは、妊産婦の自立を支援するための事業として行っていることは会員の皆様なら既にご存じの通りです。責任あるケアを提供するには、「助産師賠償責任保険」には必ず加入し、母子及びご自身の安全を守ることが必須です。このことは災害時においても共通するところです。

助産師活動においては、これからも課題となる事案が挙がってくるかと思いますが、皆様のご意見を伺いながら助産師会としての盤石な基盤を築いていきたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。



CONTENTS		
1. 会長あいさつ	.....	1
2. 勤務助産師部会	.....	2
3. 災害対策委員会	.....	3
4. 教育委員会	.....	4
5. 子育て委員会	.....	5
6. 菜の花会	.....	6
7. 要望書提出	.....	6
8. 会計からのお知らせ	.....	7
9. 編集後記	.....	8

## 2. 「対面での研修会・交流会を開催して」

勤務助産師部会 岸本 優子 3 地区

10月8日(日)、千葉県教育会館にて千葉大学医学部附属病院周産期母性科の長澤亜希子先生をお招きして「妊娠と感染症」の研修会を開催しました。最近増加している梅毒やTORCH症候群、HIVやCOVID-19などわかりやすく講義して頂きました。性感染症は20代前半がピークと言われていますが10代でも罹患します。そう考えると早めの性教育が望まれますが、思春期からの性教育では遅く、素直に事実を受け入れることが出来るもっと幼少のころから正しい知識を伝達することが必要だということでした。日本は封鎖的で性教育についてオープンに話せる文化ではないことが、より一層正しい知識を得ることを難しくしています。参加者からは私立高校の長期休み明けに尿のスクリーニングを行っていると聞きました。自治体でもなく学校が取り組む、新しい試みだと感じました。

COVID-19も5類となり、いつときほどの厳しい感染対策をしなくてもよい感染症になりました。講師の方から興味深い話を聞きました。千葉大学医学部附属病院で感染対策をして出産したCOVID-19陽性の母親から出生した新生児の陽性率は0/200件、0%だったそうです。参加者の病院でも児のクベース隔離、PCR検査等厳重に行っていましたがその結果を聞いて、出産児の陽性率は高くないのだと安心しました。ただ出産後の授乳で感染するかもしれないので注意が必要ということです。

日々働いている中で、感染症は冬だけのものではなくなりました。早い時期からの性感染症への取り組みも急務だと感じました。私たち助産師に何が出来るか考える良い機会となりました。

午後は「切れ目ない支援に向けて産後ケアなど日頃の取り組みについて」交流会を行いました。ねむねむ助産院の根岸院長をはじめ、思春期保健相談士、保健師や理学療法士、看護学校講師、勤務助産師と多職種なメンバーが集まって活発な意見交換がなされました。産後ケアは自治体によって大きく違うことが衝撃でした。本当に地域差がありました。比較的容易に申請が下りるところもあれば、産後はファミリーサポート等をまず利用して褥婦になるべく自立を促し、産後ケアは最後の手段という自治体もありました。行政の財政状況やマンパワーにより、必要な時に必要なケアを受けることが出来ないことは大きな問題だと感じました。必要とするすべての褥婦に必要なケアを提供したい、これは皆の共通する願いでした。また保健師の方からは現場の実際を聞くことが出来ました。産後ケアのフィードバックが欲しいという意見も聞かれました。

日頃の取り組みとしては、思春期保健相談士からは訪問看護ステーションは行政で作ることの提案を、また骨盤専門サロンを経営している理学療法士からは骨盤ケアの重要性、看護学校講師からは出産に感動する学生を教える喜びを、勤務助産師からは勤務先の状況を報告し合いました。

研修会も交流会も皆の笑顔を見ることができて、とても楽しい会となりました。もちろん画面越しでも研修会は開催できます。私もコロナ禍では母親学級をオンライン開催にして今は対面での開催にしていますが、伝わり方が全然違います。目を見て微笑みあい、ちょっぴりくだけた話もできる、そんな対面での研修会・交流会はやっぱりいいなあ、楽しいなあ、と思いました。アンケートでも研修会・交流会ともにまた参加したいと答えてくれた方は100%でした。

まだ10月なのにインフルエンザも大流行しています。なかなか対面開催は難しいですが、タイミングを見てまた開催出来たらいいと思います。日々の忙しさに追われ研修会に足を運ぶのもためらいそうになりますが、日々助産師としてブラッシュアップしていきたいと改めて思いました。



### 3. 九都県市合同防災訓練

災害対策委員会委員長 塩見 良子 2 地区

9月2日(土)我孫子市にある川村学園女子大学(千葉県会場)で行われた九都県市合同防災訓練に参加しました。

今年は35℃以上という気温にもかかわらず、妊産婦や赤ちゃん連れの方など多くの方にご来場いただきました。今年は防災フェアのみの参加で、来場者は47組101名でした。

多くの方がスタッフとしてご協力くださり、スタッフも交代しながら、他のブースやドクターヘリ等の訓練見学に行くことができました。他ブースでは災害時どのような援助が行われているかを知ることができ、委員会では今後の参考にしようという話もあり有意義な時間になりました。

今年度も昨年度と同様、ベビーリース株式会社、アサヒグループ食品株式会社(和光堂)、AMOMA等の企業様が試供品をご提供下さり、来場者の皆様に大変喜んでいただきました。

来場者の中には、県や市の職員、消防関係者、自衛隊などの方がおり、おんぶ体験やリュックの重さ体験をして「避難する時のお母さんは一人でこんなに重いものを運ぶんだ」と驚かれています。親子連れの方からは、「子ども用の防災グッズは準備してなかったので、帰ったら早速準備します」という声も聞かれました。初めて参加したスタッフは、「参加して知らないことがたくさんあったので、参加してよかった。とても勉強になりました」と防災訓練の必要性に気づいてもらうことができました。

助産師会としては、災害時に助産師が活動していることをアピールするとともに、今後は他職種の方々とつながりも持てたら、と思っています。

最後に九都県市合同防災訓練に参加するにあたり、ご尽力いただきました千葉県や我孫子市の皆様、試供品をご提供くださった企業様、暑い中スタッフとしてご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

## 九都県市合同防災訓練

2023@我孫子市



### 9月2日(土) 九都県市合同防災訓練に参加しました

**今年度の会場は我孫子市**  
**川村学園女子大学で開催**

広大なグラウンドで救出・救護訓練が行われ、警察や消防、自衛隊などの機関が本番さながらの訓練を行っていました。会場には訓練を見学するたくさんの市民の皆さまが来場していました。

**助産師会は防災フェスタに参加!**  
防災訓練の関係機関の方々、たくさんの市民の方々が助産師会のブースに立ち寄ってくださいました。

参加された方は47組、101名で中には妊婦さんや赤ちゃん連れの方の姿もありました。

助産師の仕事や、母子保健の視点から防災についての啓発活動を行いました。



防災リュックの重さ体験と抱っこ体験



防災フェスタのブースの様子

【来場者の方へのプレゼントをご提供くださった企業の皆さま】  
アサヒ食品グループ株式会社  
AMOMA natural care,  
株式会社ベビーリース (敬称略 五十音順)  
ありがとうございました

一般社団法人千葉県助産師会災害対策委員会

## 4. マタニティフィットネス研修報告

教育委員会 片桐 いずみ 2 地区 秀明大学看護学部

9月2日（土）、zoomにて開催された「マタニティフィットネス無料体験」について、ご報告いたします。今回の研修会には、現役助産師であり、日本マタニティフィットネス協会認定インストラクターで、全米アライアンRYT500を取得されている小山朋子先生を講師にお迎えいたしました。研修会前半では、日本マタニティフィットネス協会について、協会認定プログラムの紹介、プログラムの安全性の説明をしていただき、マタニティピクスとマタニティヨガのプログラム内容の違いを実際に体験しました。



現在、全国で約1500名の認定インストラクターが病院や施設、助産院、フィットネスクラブ等で活動しており、その半分が助産師を中心とした医療専門職者であるとのことでした。特にマタニティピクスの安全性の説明に関しては、様々な研究データが示されており、しっかりとしたエビデンスをもとに行われていることが理解できました。また、実際のレッスンでは、妊婦さんが安心して受講することが出来るように、事前に児心音の確認を行うことや、初めて受講する方には、妊娠経過証明書の提出を必須としているとのこと、母児の安全面に十分に配慮していることが伺えました。そして、研修会後半では、参加者全員が実際にマタニティヨガを体験しました。マタニティヨガの体験では、小山先生が普段妊婦さんへレッスンを行っているような形式で進めてくださったため、受講者は実際のレッスン風景を想像することが出来ました。具体的には、腹式呼吸や胸式呼吸を用いた、ゆったりとした呼吸法、股関節の柔軟性を高めるポーズ、骨盤底筋群の収縮と弛緩を意識したポーズ等を行いました。受講者の多くは、今までヨガを行ったことが無い初心者でした。さらに、zoomでの研修会だったため、それぞれ床や椅子に座りながらレッスンを受けていましたが、小山先生のわかりやすい説明や優しい声かけ、初心者でも出来る簡単なポーズを教えていただいたことで、無理なく楽しみながらヨガを行うことが出来ました。



参加者からは、「妊娠中はホルモンの影響で、心の状態も不安定になりやすく、体を動かすことでリラックス効果にも繋がると感じた」「リラックスした状態で運動が出来、とても分かりやすかった」「妊娠中や産後の運動がもたらす影響がこんなにもあるのだなと感じた」等の感想をいただきました。

今回の研修会を通して、母児の安全を守りながら、妊娠中から出産、産後に続く、心と身体づくりの大切さを改めて学ぶことが出来ました。



## 5. 子育て委員会交流会報告

子育て委員会委員長 清水 清美 6地区 城西国際大学看護学部

7月23日(日)18人の参加者を迎え交流会を開催しました。前半は4月～7月中旬までの電話相談現状およびリピーター情報、対応に困難をきたしたケースの共有をし、後半は電話相談に対する課題や意見についてグループワークを行いました。グループワークで出た主なテーマは、相談対応と活動運営についてでした。

相談対応では、相談者の自己肯定感が上がる方法、知らないことを「知ったふり」をしない誠意ある対応、困難事例やはけ口系の事例にあたった時は、記録を書いたらおしまいという風に、気持ちを切り替える方法などが話題に出ました。また、リピーターへの対応については、メンタルのリピーターには共感が大切。でも、長々と聞けば良いのではなく初めに、「この位の時間ですが…」と、伝えておくなどが大切という意見も出ました。

活動運営については、相談員の確保が慢性的な課題であることから、地域で働きたい若い助産師も多いので、お母さんたちの生の声を直接聴くことができる体験が積めること等アピールし、新しい人が気軽に参加できるよう素地を作ること、グッドプラクティス事例も紹介していくとよい等の意見が出ました。また、相談日を縮小することについても提案されました。また、担当地区の負担が大きく、リマインドメールや転送作業等に対し、少なくとも運営費として算出できないかとの意見もでました。課題を並べた交流会でしたが、参加された方の満足度は高く、次年度から相談員になることを検討してくださる方もいました。

### 参加された方の感想の一部(アンケートより抜粋)

- ・今日のような交流会はとても勉強になりました。皆さんの顔も拝見できて嬉しかったです。学び多い会でした。ありがとうございました。
- ・子育て電話相談活動が、相談員にとってもメリットになることをアピールしていければと思います。
- ・電話相談はなくてはならない事業ですので、今後相談員の待遇改善、担当地区の負担軽減など多くの課題をクリアした充実した事業になるように、問題意識を持って関わっていきたいと思います。
- ・随時、情報共有が必要な事例は、連絡網の活用を希望致します。

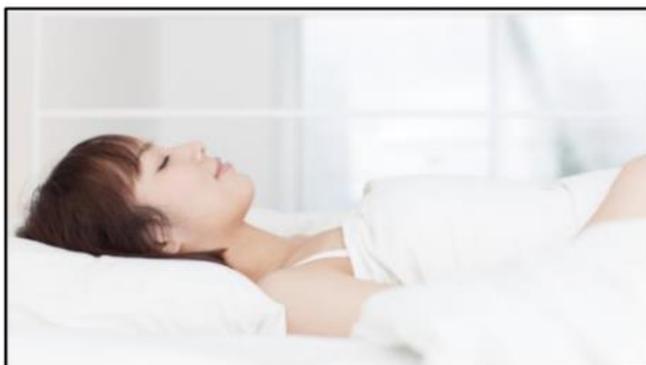
相談員にとって電話相談はいつも孤独な作業ですが、今回の交流会では同じ意識や課題に直面している仲間を感じる機会になりました。この力を、今後の子育て相談活動にも活かしていきたいと思います。あと半年、6地区も力を合わせて頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

子育て委員会 研修会企画  
先輩助産師に聴く  
～電話相談対応のモチベーションアップのために～

日時：令和6年1月20日(土)13:30～15:00  
場所：ZOOM

講義 13:30-14:30  
川口真理子氏  
リピーターでの相談対応～「聴く」は「効く」につながる～  
高橋佳子氏  
電話相談員を続けたいくなるコミュニケーション技術  
～ラ・レーチェ・リーグの方法から～  
加藤 瞳氏  
長年相談員を続けてみえたこと  
足立千賀子氏  
これからの電話相談の在り方  
質疑応答 14:30-15:00

対象：千葉県助産師会会員  
電話相談担当者・次年度相談担当希望者・電話相談に興味のある方  
参加費：無料  
申し込み方法  
相談担当者はお申込みされなくても全員開催3日前までにメールにてZOOM URLをお知らせ致します。  
その他、参加ご希望の方は下記メールにて、件名に研修名、①氏名②地区③取り上げてほしい内容を記載の上、お申し込みください。 mail : kshimiz@jiu.ac.jp



私たちは、働く皆さまを  
「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について  
詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛北関東販売株式会社 千葉営業所  
〒285-0815 千葉県佐倉市城354-8 ☎0120-006-745

## 6. 菜の花会開催

第19回「菜の花会」が9月3日（日）かに將軍千葉店にて開催されました。コロナ5類となり「菜の花会」で久しぶりにお会いした先輩諸姉のお元気な姿を拝見でき「助産師として生涯、助産師会に所属することを目標としています」との心強いご発言に大変感動いたしました。



## 7. 要望書提出のお知らせ

令和5年8月18日に千葉県知事へ要望書を提出してきました。

千葉県医療整備課より井本課長、石橋主事、貝淵様、児童家庭課母子保健班より監物班長出席のもと助産師会側から武田会長、佐藤副会長、増田副会長、來田保健指導部会長、小柴助産所部会長が参加。下記の項目について話し合い、回答を得たので報告します。

1. 千葉県内の希望するすべての妊産褥婦が産後ケアを受けることが可能となるように願いたい。➡ 令和5年度千葉県内54市町村のうち2市町村が産後ケアに参入できていないが、今年度中には可能となる見込み。
2. 災害時の母子支援について対策を強化されたい。➡ 有床助産所はEMIS（広域災害救急システム）への登録を完了。EMISは災害時に被災状況や母子の受入状況を千葉県で共有、把握する情報システムのこと。会員1名が小児周産期リエゾンを委嘱
3. 今後も起こりうる新型コロナウイルス感染症及び新興感染症拡大を見越し、「感染した妊産婦への寄り添い型支援事業」が機能するように願いたい。➡ 「寄り添い型支援事業」は継続
4. 助産師の開業権の行使がしやすいように調整願いたい。➡ 嘱託医、連携医療機関調整
5. 助産師学生の臨地実習環境整備の確保を願いたい。➡ 臨地実習地への補助金の確保
6. 妊産婦健康診査受診票における公費負担は、施設による区別なく同様に受けられるように整備されたい。➡ 現状維持
7. 妊娠、出産、育児に関する助産師の専門性が必要な「助産師の電話無料相談」における公的な支援制度の充実を図られたい。➡ 現状維持
8. 成長発達段階に応じた次世代育成のための「包括的性教育」の推進を図られたい。➡ 各保健所に対して性の健康教育推進について働きかけを継続

## ～表彰のご報告～

母子愛育会会長表彰	正林文子様	
	渡邊佐智子様	
日本家族計画協会会長表彰	鶴岡利江子様	受賞の皆様
	田邊悦子様	おめでとうございます
母子保健推進会議会長表彰	加藤睦様	
	野口みち子様	

令和5年度すこやか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）が11月9日（木）～10日（金）栃木県宇都宮市で開催され、受賞者の皆さんはその席で表彰されました。

## 8. 会計からのお知らせ

- 令和6年度年会費の口座振替日は、令和6年2月26日(月)です。  
正会員は、日本助産師会 15,000円＋千葉県助産師会 8,000円＝23,000円  
特別会員は、" 5,000円＋ " 4,000円＝9,000円  
が引き落としされます。  
残高不足が無いよう、2月20日頃までには確認をお願いします。
- 現在、口座振替手続きをされていない方へ
  - ・年会費の払込取扱票を同封しました。なるべく2月末までに入金をお願いします。
  - ・11月末までに日本助産師会から預金口座振替依頼書が郵送されていると思います。この機会にぜひ、口座振替にご協力をお願いします。  
(令和5年12月28日までに日本助産師会へ返送して頂きますと、令和6年度会費から口座振替が可能となります。)
  - ・令和5年12月28日までに口座振替手続きを完了された方は、同封の払込取扱票は破棄してください（二重入金防止のため）。
- 令和5年度末（3月31日）までに退会・他県への移動をすることがお決まりの方は、令和5年12月28日までに手続きをお願いします。  
手続き方法
  1. 日本助産師会機関誌「助産師」の巻末の変更届・退会届を利用して申請する。
  2. 会員マイページから申請する。
- 退会・移動の申請が4月1日以降になりますと、口座振替された会費の返金はできません。在籍扱いとなるため、未納の場合も入金をお願いすることになります。  
決定している方は、お早めに手続きをお願いします。
- 会費の領収書について  
日本助産師会・千葉県助産師会の年会費領収書が必要な方は、会員マイページからダウンロード・印刷をお願いします。



# お知らせ



## 1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ ("http://www.midwife-chiba.org) にてご確認ください。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
1月20日(土)	13:30~15:00	先輩助産師に聴く	ZOOM	子育て委員会
2月4日(日)	9:30~12:30	NCPR講習Sコース(6名)	千葉市民会館	教育委員会
	13:30~16:30	NCPR講習Sコース(6名)		

## 2. 理事会の日程 1月~3月

	開催日	時間	場所	
第6回	1月21日(日)	9:30~12:30	千葉市民会館 (オンライン併用)	
第7回	2月18日(日)	9:30~12:30	オンライン	
第8回	3月10日(日)	9:30~12:30	千葉市 生涯学習センター	

## 3. メーリングリストについて

- ・氏名や住所の変更があった場合は速やかに変更手続きをお願いいたします。
- ・メーリングリストに登録すると助産師会と関連のある団体の研修会の案内等も届きます。



## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、半年が経ちました。それとともに私たちの生活も以前の活気を取り戻しつつあります。一方で、コロナだけでなくインフルエンザとの同時流行や、季節外れの真夏日、数十年ぶりの超円安続く物価高と、なかなか心落ち着く状況にありません。来る令和6年はどのような年になるのでしょうか。今年一年の会員の皆様のご尽力に感謝の意を表すととともに、益々のご健勝を祈念いたしまして今季の編集後記とさせていただきます。

広報委員：佐藤静子・齋藤明子・佐藤幸江・原田奈美

